

1-2-6 昆虫類

現地調査計画

調査の目的

対象事業実施区域及びその周辺に生息する昆虫類の生息状況を把握するため調査を実施しました。

昆虫類相調査は、対象事業実施区域及びその周辺に生息する昆虫類相の把握を目的として行いました。また、重要な種が確認された場合には、詳細な環境記録を行いました。

ここでは、平成 16 年度に実施した調査のうち、9 月までの調査結果を報告します。

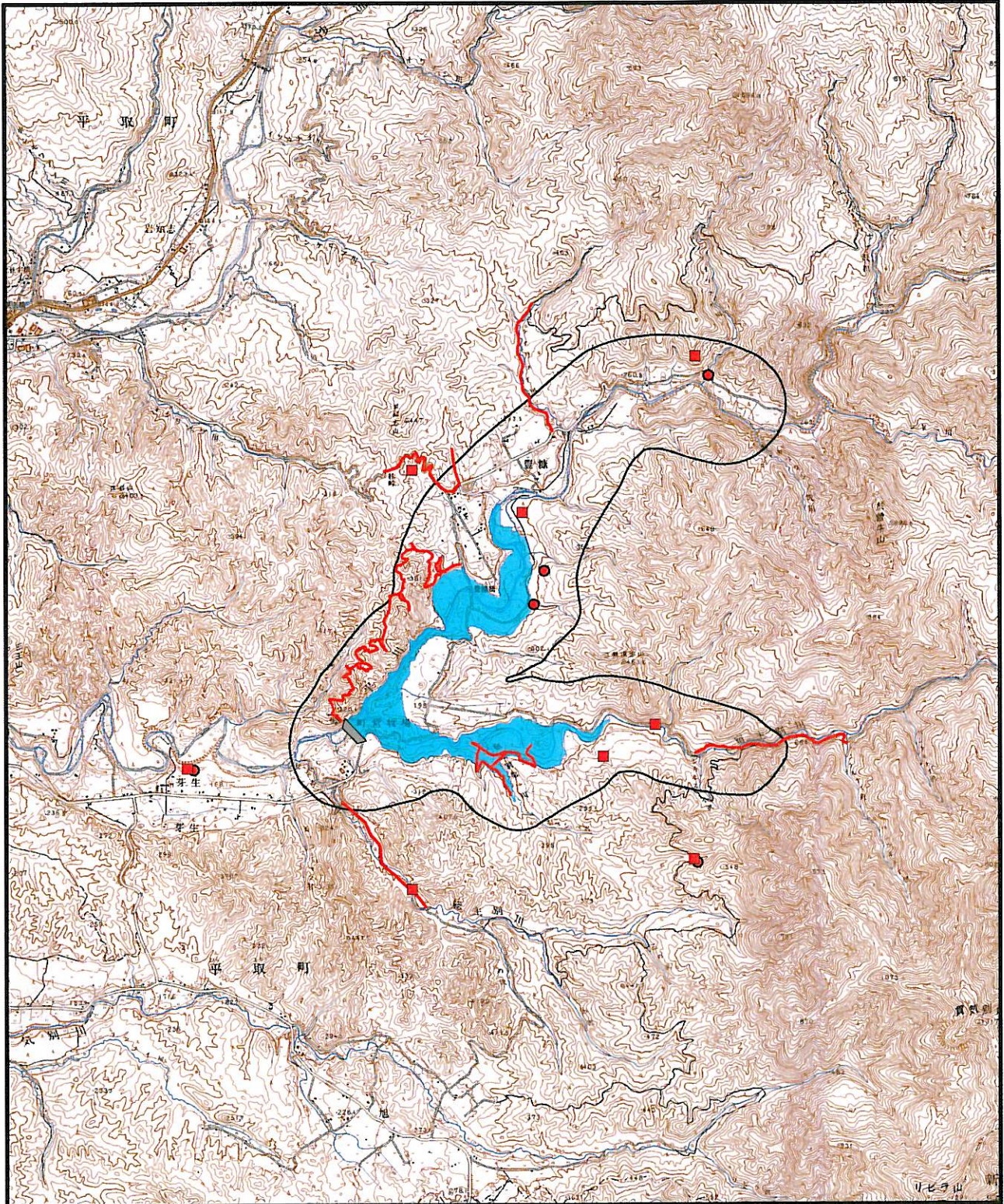
調査の方法

調査項目	調査方法	
昆虫類相	任意採集	捕虫網を用いて目視で観察された昆虫を採集する見つけ採り、捕虫網を用いてすくい取りを行って昆虫を採集するスウィーピング、樹木の枝等をたたき、落下する昆虫を採集するピーティングを行った。
	トラップ調査	糖蜜等を入れたプラスチック製紙コップを 1 地点当たり 25 個設置し、誘引された昆虫を採集した。(ピットフォールトラップ法) スクリーンおよび 20W の蛍光灯とブラックライトを設置し、光により誘引された昆虫を採集する。(ライトトラップ法)

調査日程

調査項目	調査時期
任意採集	平成 16 年 7 月 13～16 日 平成 16 年 8 月 9 日～13 日 平成 16 年 9 月 22、23、28 日、29 日
トラップ調査	平成 16 年 7 月 12～15 日、20～23 日 平成 16 年 8 月 9～13 日 平成 16 年 9 月 21～24 日

1. 平成16年度調査結果について



凡例

- | | | | |
|---|--------|---|-----------------|
|  | ダム堤体 |  | ピットフォールトラップ設置地点 |
|  | 貯水予定区域 |  | ライトトラップ設置地点 |
|  | 調査地域 |  | 任意採集 調査経路 |



Scale = 1:75,000

0 1 2 4 km

昆虫類相調査地域・経路・地点

平成 16 年度調査結果

昆虫類相調査

現在同定中です。

重要な種調査

調査の結果は、下表に示す 7 科 7 種の重要な種が確認されました。

科名	種名	文化財 保護法	種の 保存法	環境省 RDB	北海道 RDB	確認状況
カマドウマ	ヒダカヒラタクチキウマ				希少	7月に一般採集で、額平川右岸において4個体、8月に総主別川沿いにおいて2個体がそれぞれ確認された。確認環境は樹林地にみられる枯れ木の樹皮下であった。
オサムシ	ヒダカマルクビゴミムシ				希少	8月に一般採集で宿主別川上流において1個体が確認された。確認環境は河川脇の石下であった。
カミキリムシ	ケマダラカミキリ			準絶	留意	7月に一般採集によって額平川右岸において3個体が確認された。確認環境は路傍草地であった。
スズメバチ	チャイロスズメバチ				希少	8月に一般採集によって、総主別川沿いにおいて個体及び巣が確認された。確認環境は樹林跡地であった。
ハナアブ	フタオビアリスアブ				希少	8月に一般採集で、額平川右岸において2個体が確認された。確認環境は路傍草地であった。
イエバエ	キバネクロバエ				希少	8月に一般採集によって宿主別川上流において1個体、9月にライトトラップ調査によって額平川左岸において1個体、一般採集によって宿主別川上流、総主別川沿いにおいて各1個体、額平川右岸において4個体が確認された。確認環境は樹林地脇の林道等であった。
シジミチョウ	ゴマシジミ			II類	留意	8月に一般採集で、額平川右岸において1個体が確認された。確認環境は路傍草地であった。
7科	7種	-	-	2種	7種	7種

表中の重要な種の略号

環境省 RDB

準絶：準絶滅危惧（存続の基盤が脆弱な種）

II類：絶滅危惧 II類（絶滅の危険が増大している種）

北海道 RDB

希少：希少種（存続基盤が脆弱な種または亜種）

留意：留意種（保護に留意すべき種または亜種）